

研究課題番号	1RF-2103
研究課題名	原発事故地域における森林火災後の放射性物質・再拡散予測システムの開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	福島大学
研究代表者名	五十嵐 康記

## 1. 評価結果

評価ランク：A

## 2. 委員の指摘及び提言概要

現地データの収集、複数衛星の同時使用と拘束条件を減らしたAIモデルの開発、大気モデルおよび河川モデルにおける放射性物質の沈着・流出過程の取り込みなど、独自性の高い研究ツールを作り出し、消失域と大気および河川域の放射性物質拡散過程に関する新しい知見を得た点が評価できる。また、研究期間に起こったウクライナ戦争に対しても柔軟に対応し、得られた成果の日本の汚染地域への適用の可能性も示しており、今後の森林火災への対応において、本研究成果がおおいに活用されるものと期待する。国際的に高い評価のある論文誌に5報の研究成果を出していることは、高い評価に値する。専門性の高い他の研究機関と連携し、火災の規模や風向き風速による放射性物質の拡散予測精度を向上させることを期待する。なお、誤変換が多い報告書は、研究成果についての信頼を低めるので、提出前の見直しを徹底されたい。